Vol.42

niceな人見つけちゃいました!

今月のいいね

1月11日㈬ライディングヒルズ静内
静内駐屯地司令と20歳を迎えた隊員13人 ほか

陸上自衛隊 静内駐屯地 - 二十歳の集い -

陸上自衛隊静内駐屯地（静内浦和）では、馬産地である地域の特徴を生かし、静内駐屯地に所属する20歳を迎えた隊員への記念行事として、毎年１月上旬に乗馬体験を行っています。

陸上自衛隊
第７高射特科連隊長
兼 静内駐屯地司令
矢口 鑑（かがみ） さん
（東京都出身）

本行事は、全国から静内駐屯地に配置された隊員の門出を「馬産地である地域の特徴を生かしたものでお祝いしよう」とのことから、新ひだか町および周辺地域の牧場や乗馬施設などの協力のもと、平成28年に成人行事として始まりました。
今年で８回目を迎え、隊員の地域愛醸成につながり、また成長を願う親御さんからも大変好評と聞いております。静内駐屯地は、引き続き地域の皆さまとともに歩んでまいりますので、本年もよろしくお願いいたします。

- 自衛官のお仕事 -

平成30年９月６日に発生した北海道胆振東部地震の災害派遣では、被災地各地において、一刻も早い要救助者の発見のため、昼夜を通して全力で人命救助活動にあたるなど、自衛官は、国の平和と独立を守るという使命の下、領土・領海・領空を守る活動はもとより、海外での国際平和協力活動のほか、災害時の捜索・救助、医療対応などを行っています。

人命救助活動（厚真町）
第７師団（６日２２時）

北海道胆振東部地震での人命救助活動

静内駐屯地ロゴマーク

20歳を迎えた自衛官の方に 今後の抱負 などを聞いてみました

第７高射特科連隊
陸士長 梅津 翔（しょう） さん（新ひだか町出身）

特別な仕事に就きたいとの思いから、２年前に採用試験を受験しました。山中や昼夜問わずの訓練など大変なときはありますが、自分に誇りの持てる人間を目指して、自衛官として成長し、これまで以上に自身の行動一つひとつを大切にしていきます。

第７高射特科連隊
陸士長 和田 千裕（ちひろ） さん（帯広市出身）

コロナ禍で就職難だった２年前、自衛官である父の姿を幼いころから見ていたこともあり採用試験を受験しました。節目の年齢を迎え、両親や支えてくれた方に感謝するとともに、優しくも、時に厳しい父のようなメリハリある自衛官を目指していきます。

- 静内駐屯地 -

第７高射特科連隊、第101無人標的機隊、北部方面無人偵察機隊などの部隊がある陸上自衛隊の駐屯地。約380人の隊員が所属。対空射撃場が隣接しており、毎年、全国から約25,000人の隊員が訓練に訪れる。

【問合せ】静内駐屯地 ☎44 - 2121